

2012年度 決算説明会
主な質疑応答

Q1. 社長就任から6ヶ月経って、これまでの手応えをどう感じているか。

A1. これまで現場力強化を図ってきており、エクスクリアや太陽電池用バックシート等、市場ニーズに合った製品の開発及び早期立上げに対応できる体制が、グループ全体でできつつあるという手応えを感じている。

Q2. デジカメについて 2013 年度でどのように損益改善を図っていくのか？

A2. デジカメについては台数を追わず、スマホと競合するエントリータイプのコンパクトの比率を下げ、X シリーズを中心とする高付加価値タイプに重点を移す。また、販売チャネルもそれに見合った形に見直しを行う等、大幅な固定費削減を図る。

Q3. 株主還元に関して、自社株買いについてはどう考えているか？

A3. 自社株買いに関しては機動的に実施していく。キャッシュの状況を見ながら、また PBR が低いことも勘案しつつ、何らかの手を打つ必要があると判断したときには機動的に行うつもり。

Q4. 次期中計の考え方のポイントは？

A4. 来年以降の姿についてはこれから描いていくことになるが、基本的には VISION80 で考えていた 3 つの成長エリア(ヘルスケア、高機能材料、ドキュメント)をいかに伸ばしていくかがポイント。特に前者 2 つは新たな市場が広がっていることから、いかに資源を投入し、回収していくかということを考えていく。